

広島市教育センター
幼稚園教育実技研修
平成26年6月27日(金)

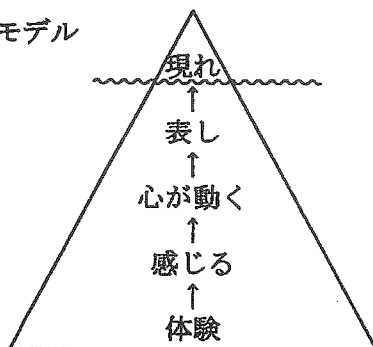
造形表現の指導のポイント



安田女子大学 藤原 逸樹

1 幼児にとって表現とは

表現の冰山モデル



2 幼児の表現を生かし、生き生きと活動させるために

- ・小さな画用紙にかく（発話の聞き取りメモを添付しその日のうちに掲示する）

3 実技

かく活動の実技

- ・コンテ（スクリブル）
- ・コンテ（粉をこすりつけて）
- ・パスの線遊び（宇宙旅行）
- ・スポンジペンの線遊び（トントン、シュルシュル）
- ・絵の具の線遊び

つくる活動の実技

次ページから

【造形表現の指導のポイント】

造形表現の指導のポイントとして、講師の藤原逸樹教授（安田女子大学）が示してくださったのは、「表現の冰山モデル」です。子どもたちが生き生きと造形表現の活動をするためには、表現に至るプロセスをしっかりと受けとめ、評価することの重要性を教師が理解しておく必要があります。

